

| 実践校に関する事項                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                       |                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------------|
| 学校区分                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 学校名                   | 学校長名             |
| 中学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 那智勝浦町立 下里中学校          | 久保 敏晴            |
| 学校所在地                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                       |                  |
| 〒649-5142<br>tel 0735(58)0009 fax 0735(58)0041                                                                                                                                                                                                                                                              |                       |                  |
| 担当者名                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                       | 担当教科             |
| 中西 健                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                       |                  |
| <p>〔学校の概要〕</p> <p>校区は、県の南端の熊野灘に面し、那智勝浦町の中心部からやや離れた国道42号線沿いに位置し、浦神（約670名）、下里（約2,000名）、太田（約1,150名）の三地区から成る。</p> <p>地域は、かつて、半農半漁の沿岸部と東牟婁地方の穀倉地帯と言われた太田地区に分類できたが、共に就労者の高齢化が進み、後継者不足は深刻である。また、職業構成や生活環境の変化も著しい。各地区とも、教育熱心であり、学校に対しても協力的である。</p> <p>生徒たちは明るく素直で、何事にもまじめに取り組むことができる。全体的に落ち着いた雰囲気の中で学習が進められている。</p> |                       |                  |
| 研究実践に関する事項                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                       |                  |
| 対象者児童・生徒                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 学習支援者等（延人数）           | 主な活動場所           |
| 学年1・2年生 53名                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 8名 職員 8名              | 教室・世界遺産センター・熊野古道 |
| 実践研究テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                       |                  |
| 自分たちの住む地域について学び、より良い地域づくりを目指す、地域社会の一員としての自覚を高める。                                                                                                                                                                                                                                                            |                       |                  |
| 実践教科等名                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 単元名                   |                  |
| 総合的な学習の時間                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 自分たちの住む地域の世界遺産について学ぼう |                  |
| 〔キーワード〕                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                       |                  |
| 〔単元目標〕                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                       |                  |
| 「紀伊山地の霊場と参詣道」の概要を学び、また、現地学習を通して熊野古道を体感することで、自分たちの住む地域についての知識理解を深める。                                                                                                                                                                                                                                         |                       |                  |
| 〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕                                                                                                                                                                                                                                                                  |                       |                  |
| 全体 4時間 （ 「自分たちの住む地域の世界遺産について学ぼう」 4時間 ）                                                                                                                                                                                                                                                                      |                       |                  |
| 〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                       |                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山県土砂災害啓発センター …… 平成23年紀伊半島大水害における那智勝浦町の土砂災害の実態や土砂災害の発生メカニズム等について学習。</li> <li>・和歌山県世界遺産センター …… 世界遺産入門、次世代育成事業（現地学習）</li> </ul>                                                                                                                                      |                       |                  |

実践に関する事項

〔単元指導計画概要〕

|   | 主な学習活動                   | 学習への支援                                                                                                         | 評価方法等  |
|---|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 1 | 1. 事前学習                  | 「紀伊山地の霊場と参詣道」の基礎的なことについて学習し、世界遺産センターでの世界遺産講座・実際に熊野古道を体験する現地学習に向けての事前学習を行った。                                    | ワークシート |
| 2 | 2. 世界遺産講座                | 和歌山県世界遺産センターの職員の方から、「世界遺産がなぜ生まれたのか」「世界・日本にはどのような世界遺産があるのか」「紀伊山地の霊場と参詣道とはどのような世界遺産なのか」等、説明して頂き、世界遺産についての概要を学んだ。 | 観察     |
| 3 | 3. 現地学習<br>(三軒茶屋～熊野本宮大社) | 実際に熊野古道を2班に分かれて体験した。世界遺産マスター・県世界遺産センターの職員の方々の協力のもと、道中いろいろな説明をして頂きながら熊野古道についての現地学習を行った。                         | 観察     |
| 4 | 4. ふり返り                  | 後日、各学級で「世界遺産講座」「現地学習」をふり返り、「紀伊山地の霊場と参詣道」についての知識理解を深め、最後に感想文を書く学習活動を行った。                                        | 感想文    |
| 5 |                          |                                                                                                                |        |

〔単元学習の成果と課題〕

- 【 成果 】 今回の学習を通して「紀伊山地の霊場と参詣道」についての興味関心が高まり、それらについての知識理解も深めることができた。生徒たちからも今後の学習活動につながるような感想もあり、自分たちの住む地域について更に学習を深めていきたい。
- 【 課題 】 各学年ごとにまとめたり、総合的な学習の時間の発表会につなげるなどの事後学習の時間を今後はもう少し取っていきたい。

〔世界遺産学習の効果〕

地域について学ぶと言っても現地学習を行う場合、実際には費用の面でなかなか難しいというのが現状である。しかし、次世代育成事業では「紀伊山地の霊場と参詣道」について詳しく学習できることは言うまでも無く、大型観光バスをチャーターしてくれる。そのおかげで、世界遺産センターにおいて専門的な知識を持った職員の方々から生徒たちは世界遺産に関することを多く学び、実際に熊野古道を体感するなど、確実に世界遺産に対する興味関心は高まり、その知識理解は深まったと言える。今回の取り組みに本当に感謝したい。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

今回、初めて次世代育成事業に参加させて頂いた。例年、地元那智勝浦町の熊野古道についての学習及び現地学習を行っており、更には新宮地域の学習も含めた、「紀伊山地の霊場と参詣道」について学ぶ、3年間を見通した学習計画を作っていきたい。

## 様式 2

平成30年度 次世代育成事業における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

### 【世界遺産講座・館内見学の様子】



### 【現地学習の様子】



### 【生徒の感想】

今日、熊野古道についての勉強をして、一番心に残ったのは熊野古道を実際に歩いたことです。昔の人が山道をきれいに  
して歩きやすくしたこと、日本の歴史文化が表現されている山だということに感心を持ちました。世界遺産の種類も知れたの  
で良かったです。

今日の世界遺産の話聞いて、世界遺産登録には厳しい審査があることを改めて知りました。文化遺産、自然遺産、複合  
遺産の違いも分かったし、文化遺産が一番登録数が多いことに驚きました。実際に歩いた感想は疲れたというのが一番感じ  
ますが、江戸時代の石があったりと、和歌山の文化についても触れられたので良かったです。ありがとうございました。

「紀伊山地の霊場と参詣道」について詳しく知ることができました。自分の住んでいる地域なのにほとんどが知らないこ  
とで、すごく勉強になりました。本宮大社まで熊野古道を歩く中で、江戸時代以前に整備された道も残っていて驚きました。  
これからはもっと、この世界遺産のことを知りたいし、大切にしていきたいと思いました。

世界遺産とは、世界の人々にとって共通するかけがえのない宝物なんだと思いました。僕らの歩いた距離はたった 2.5 km  
でしたが、昔の人は 300 km も歩いていたと思うと、どれだけ足腰が強いのだと思いました。僕らの時代は自動車があって良  
かったと思います。でも、そこまでしてもお参りに来るほど、やり遂げたい目的があったのだろうと思いました。僕らも自  
分たちの近くにある世界遺産を大切にしていきたいです。

世界遺産センターと熊野古道に行って改めて世界遺産の良さや大切さ、すごさが分かった。熊野古道からの景色はとて  
もきれいだった。世界遺産センターでは、世界遺産の種類、条件、数などのたくさんの事を教えてもらえたから良かった。  
これからはもっと世界遺産について知りたい。そして近くに世界遺産があることに誇りを持って生活していきたいと思  
った。